

事業番号	05 07 02	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	がん対策推進事業	部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課	
		実施期間	H6 ~	E-mail	hoken-shippei@pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

・本県のがんの75歳未満年齢調整死亡率は人口10万人あたり57.6（2020年）となっており、全国一低い値である。しかし、がんは2021年の県民の死亡原因の24.1%を占め、死亡原因の第1位である。

・本県では、2019年に新たにがんと診断された数は16,511例であり、日本人が一生のうちにがんと診断される確率は2人に1人である。また、がんの5年生存率は早期発見の場合は部位によっては9割以上である一方、進行後発見の場合は1割にも満たない部位もある。

2 事業目的

・多くの県民ががんを予防することにより、避けられるがんを防ぎ、がん罹患者を減少させる

・多くの県民が適切ながん検診を受診し、がんを早期に発見する

・がん診療の地域格差を無くし、質の高いがん医療を提供する

・がん患者が尊厳をもって安心して暮らせる社会を構築する

3 事業目的を達成するための取組

①がん予防、がん早期発見に向けた情報発信、関係機関への助言

・県民のがん予防に対する意識の向上、がん検診受診率の向上のため、啓発活動を実施

・県民が適切ながん検診を受診できるよう、市町村や検診機関に対し、がん検診の精度管理を実施

②がん診療体制の整備・充実

・地域格差を無くすために、全二次医療圏に整備したがん診療連携拠点病院等へ運営費等の補助や機能評価を実施

・がん診療を行う医療施設として必要な施設、設備の整備に対して補助

③がんになっても尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築

・がん診療連携拠点病院等において、がん治療・療養生活等に関する相談体制、適切な緩和ケアを提供

・治療と仕事の両立支援のために、社会保険労務士による相談の機会を提供

・がん患者の社会参加の促進のため、ウィッグ等の外見の変化を補正する器具の購入費用を助成

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度	R3年度	R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値			
①	がん検診チェックリストの市町村実施率	%	72.3	66.9	↘	R5年度に公表予定	—	67.5	市町村において、適切な精度管理が実施されているのか把握し、改善を目指す（長野県がん対策推進計画で2016年：67.5%→2023年：現状以上と目標設定）
②	がん診療連携拠点病院等の機能評価	病院	0	0	→	1	↗	2	令和2～3年度と新型コロナの影響で実施できない年があり、令和4年度はWebを活用しコロナ禍においても可能な方法を試行、令和5年度は前年度から1病院増加を目指す。
③	緩和ケア研修会の受講者数	人	2,602	2,852	↗	3,000	↗	3,150	長野県がん対策推進計画の計画期間最終年度（2023年度）における目標値（2,500人以上）は達成済のため、新たにR3年度実績の約10%増を目標値として設定

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（指標名）	単位	直近3か年の状況						目標		
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値	
1-5①	健康づくりの推進	該当なし										
1-5②	充実した医療・介護提供体制の構築	該当なし										

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計	うち一般財源		
R5年度	(予算案)	196,768		196,768	81,533		2.6
	(要求)	199,628		199,628	83,543		
R4年度	0	195,556	0	195,556	74,996		2.6
R3年度	0	192,687	3,157	195,844	77,143	153,093	2.3
予算要求からの 主な変更点	・がん患者へのアピアランスケア助成事業について、市町村の予算措置の状況を踏まえ所要額を精査し減額 ・小児・AYA世代のがん患者妊孕性温存治療費助成事業について、過去の執行状況を考慮し減額						

事業番号	05 07 02	細事業一覧（令和5年度実施事業分）	□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	がん対策推進事業		部局	健康福祉部	課・室	保健・疾病対策課

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	がん予防推進事業		16,205 千円	16,658 千円	(予算案) 14,912 (要求) 14,912 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	がん検診普及啓発事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防やがん検診の受診行動を促す啓発活動を実施 がんと向き合う週間における啓発イベント等を実施（1回） 		
2	がん検診精度管理事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村が実施するがん検診の精度管理に関して専門的助言・情報提供を行う会議体の設置 会議の開催(1回) 		
3	がん医療提供体制人材育成事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診に従事する医療従事者に対する研修会開催等に要する経費に対して補助 研修会の開催（1回） 		
4	がん登録推進事業	直接 委託	<ul style="list-style-type: none"> ・県内のがん罹患情報を収集（委託先：信州大学医学部附属病院） ・がん登録情報の利活用等に向けた委員会及び審査会を開催 委員会開催（1回）、審査会開催（3回） 		
5	生活習慣病疫学調査研究事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・がん予防を含む健康の維持増進を目的とした地域生活習慣調査及び生活習慣と疫病発症の関連調査、分析 次世代多目的コホート研究の追跡調査（1回） 		

細事業 No.	細事業名		R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	がん対策総合推進事業（医療）		176,482 千円	178,898 千円	(予算案) 181,856 (要求) 184,716 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	がん診療連携拠点病院整備事業	直接 補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療連携拠点病院等の機能評価や検討を行う県がん診療連携拠点病院整備検討委員会の設置 ・がん診療連携拠点病院等が行う診療機能の維持・向上に向けた取組に対する補助 委員会の開催1回、機能評価実施病院数2、11のがん診療連携拠点病院等へ補助 		
2	がん医療提供体制施設設備事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がん診療を行う医療施設として必要な施設、設備の整備に対する補助 医療機関4施設 		
3	がん診療施設設備整備事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がん医療提供体制が弱い二次医療圏における、標準的がん診療を行う医療機関への施設、設備の整備に対する補助 医療機関4施設 		
4	がん対策推進協議会	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的ながん対策の推進に関して検討を行う会議体の設置 会議の開催(1回) 		
5	がん患者への就労支援推進事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・がん相談支援センターで両立支援・就労相談支援等を行う社会保険労務士の派遣 相談件数：120件 		
6	がん先進医療費利子補給事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がんの先進医療を受けるために金融機関から融資を受けたがん患者及びその家族に対する当該融資に係る利子相当分の補助 補助件数：既承認者3名、新規想定申請1名 		
7	がん患者へのアピアランスケア助成事業	補助金	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の社会参加の推進のためのウィッグ等の購入費用に対する市町村助成金の一部補助 補助件数：想定38市町村（584件）に補助 		
8	小児・AYA世代がん患者等妊孕性温存治療費助成事業	直接	<ul style="list-style-type: none"> ・小児・AYA世代（※1）のがん患者等に対し、妊孕性温存（※2）療法及び温存後生殖補助医療に要する費用の一部を助成 ※1 思春期および若年成人世代のこと ※2 卵子や精子、受精卵を凍結保存すること 妊孕性温存療法助成件数17件、温存後生殖補助医療助成件数10件 		